

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
470002	X-13/31-B-2-470002	4	海外研修	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				【1・3年次生】経営情報学部経営学科	専門	選択	2年
				【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	選択	2年
情報英語	阿部 聰			【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	専門	選択	2年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	選択	2年

授業目的

海外夏期セミナーにおける授業科目の1つである。英語によって自分の考えや主張を相手に伝え、コミュニケーションができるようにするための技術を身につける授業を行う。また、海外夏期セミナーにおいて開講される「北米社会と情報」を理解するための情報技術関連の英語力修得を目指す。アルバータ大学エクステンション学部における ESL (English as a second language 第二言語としての英語) 教育クラスの運営ノウハウを生かした授業構成となっている。また、多民族・多文化国家であるカナダにおいてグローバルな視点を涵養することも授業の目的である。なお、現地へ出発前(前期)に現地事情の概要および渡航関連項目の事前学習・研修を下記のように15回に渡って行う(「北米社会と情報」と共通。しかし事前学習・研修の中でも実際に英語を用いたり、英語でのプレゼンテーションの準備を行ったりする)。

各回の授業内容

第1回 【授】 オリエンテーション：カナダ夏期セミナー概要説明（日程・費用など） 【前・後】事後：セミナー内容を熟読し理解しておくこと	第9回 【授】 グループワーク：新潟の文化・地理・歴史についての英語によるプレゼンテーションの準備 【前・後】事後：内容を復習し、不明点は次回に質問すること
第2回 【授】 渡航準備：旅行会社航空券の予約開始、パスポート取得方法説明、eTA 取得用クレジットカード作成の説明 【前・後】事後：パスポートおよびビザ申請を開始すること	第10回 【授】 渡航準備：フライト・入国方法（税関・検疫申告書記入の練習など） eTA申請の確認 【前・後】事前：eTA申請を各自で行うこと。事後：内容を復習し、不明点は次回に質問すること
第3回 【授】 渡航前書類の説明：学内書類（誓約書、奨学金交付願、保護者宛文書）の説明、配布 【前・後】事後：配布書類を完成させること	第11回 【授】 渡航準備：フライト関係説明、成田までの移動手段確認 【前・後】事後：内容を復習し、不明点は次回に質問すること
第4回 【授】 グループワーク：カナダ渡航の目的 【前・後】事前：渡航目的を書き出しておくこと	第12回 【授】 渡航準備：海外（留学）旅行保険学内説明会、役割決定、研修日程表作成（報告書） 【前・後】事後：内容を復習し、不明点は次回に質問すること
第5回 【授】 グループワーク：カナダ・アルバータ州の歴史と地理（調査） 【前・後】事後：調査不足の部分は補っておくこと	第13回 【授】 渡航準備：成田までの交通方法決定・発表 【前・後】事後：内容を復習し、不明点は次回に質問すること
第6回 【授】 グループワーク：カナダ・アルバータ州の歴史と地理（発表） グループワーク：新潟の文化・地理・歴史についての英語によるプレゼンテーションの準備	第14回 【授】 渡航準備：英語クラス発表、各種報告書の記入方法説明、行事確認 【前・後】事後：内容を復習し、不明点は次回に質問すること
第7回 【授】 グループワーク：カナダ・アルバータ州の歴史と地理（講義） グループワーク：新潟の文化・地理・歴史についての英語によるプレゼンテーションの準備 【前・後】事後：講義内容をまとめておくこと	第15回 【授】 渡航準備：渡航当日スケジュール最終確認 【前・後】事後：内容を復習しておくこと
第8回 【授】 渡航準備：ホームステイ申込書作成 グループワーク：新潟の文化・地理・歴史についての英語によるプレゼンテーションの準備 【前・後】事後：ホームステイ申込書を完成させておくこと	第16回

成績評価方法

- ・事前学習の成績：出席点 80%、レポート（研修日程表）20%で評価する
- ・留学時成績：レポート 70%、最終テスト 30%で評価する

教科書・参考書

短編小説、新聞、パンフレット、ウェブ記事などを含む多くのテキストを使用する。また、音声・映像教材も使用する。

受講に当たっての留意事項

- ・事前学習では現地事情および渡航に関する学習を行う。いずれも必須項目であるので、必ず出席すること。欠席の場合は補講を実施する。
- ・留学先（アルバータ大学）の英語教育プログラムは4.5時間の授業が週5日・およそ4週間にわたり実施されるため1日でも欠席すると追いつくのが大変なので欠席しないこと。
- ・英語文化圏におけるコミュニケーション技術向上に焦点をあてた授業であるため、普段から日本語でもコミュニケーション力をつけておくことが望ましい。
- ・上記の時間以外でもホームステイなどを通して英語によるコミュニケーションのトレーニングが求められることを理解しておくこと。
- また、下記のこととも実施するので認識しておくこと。
- ・プレースメントテスト（留学前）：レベル別英語授業のための英語能力の確認
- ・カンバセーション・クラブ：外国人との英会話練習
- ・様々な場面における言語技術向上のためのトレーニング：ディスカッション、プレゼンテーション、実務処理の実行・対応、感情表現等の学習
- ・ホームステイ：3週間のホームステイによる日常生活の中での英語体験とコミュニケーション技術の向上
- ・出発までに1回はTOEICを受験しておくことを強く勧める。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施
×		○

学習到達目標

履修後に TOEIC 試験の点数を渡航前より 100 点以上アップする。

多民族社会・多文化社会における多様な英語に触れ、英語という言語そのものに対する視野を広げること。

JABEE

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習